

## 環境福祉委員会会議記録

環境福祉委員会委員長 神崎 浩之

- 1 日時  
令和3年8月3日（火曜日）  
午前10時3分開会、午後0時5分散会  
（うち休憩 午前10時22分～午前10時24分、午前10時26分～午前10時27分）
- 2 場所  
第5委員会室
- 3 出席委員  
神崎浩之委員長、岩城元副委員長、名須川晋委員、千葉伝委員、米内紘正委員、  
小野共委員、佐々木努委員、千田美津子委員、木村幸弘委員、小林正信委員
- 4 欠席委員  
なし
- 5 事務局職員  
糠森担当書記、小笠原担当書記、及川併任書記、田澤併任書記、後藤併任書記
- 6 説明のために出席した者  
医療局  
小原医療局長、小原医療局次長、植野医師支援推進室長、  
鈴木経営管理課総括課長、宮職員課総括課長、久慈医事企画課総括課長、  
千葉業務支援課総括課長、菊地医師支援推進室医師支援推進監、  
千田医師支援推進室医師支援推進監
- 7 一般傍聴者  
5人
- 8 会議に付した事件
  - (1) 医療局関係  
(請願陳情)  
受理番号第46号 県立釜石病院に医師確保を求める請願
  - (2) 環境生活部関係  
(継続調査)  
「いわて飲食店安心認証制度について」
- 9 議事の内容  
○神崎浩之委員長 ただいまから環境福祉委員会を開会いたします。  
これより本日の会議を開きます。本日は、お手元に配付いたしております日程により会議を行います。

なお、本日の日程についてであります。さきの6月定例会において当委員会のほか総務委員会にそれぞれ所管に属する項目ごとに分離して付託された請願陳情受理番号第50号新型コロナウイルス感染症対策、大規模災害に対応する体制確保、ふるさと振興の推進等のための地方財政の充実・強化を求める請願について、当委員会に付託された項目2については採択と決定され、国に対する意見書の提出については総務委員会の審査結果を待ってから委員会発議することとされたところであります。

つきましては、総務委員会の審査結果が出た場合には、当委員会でも継続審査を一旦中断して意見書の取り扱いについて協議することとなりますが、総務委員長と申し合せをし、総務委員会においては最初に審査を行うこととしておりますので、あらかじめ御了承願います。

また、意見書の取り扱いを協議する際の参考として、さきの6月定例会において採択と決定した受理番号第50号の請願文書表をあらかじめお手元に配付いたしておりますので、御確認願います。

初めに、請願陳情の審査を行います。受理番号第46号県立釜石病院に医師確保を求める請願を議題といたします。

本請願について当局の参考説明はありませんが、7月2日の環境福祉委員会における配付資料を参考までにお配りしております。

それでは、質疑、意見交換に移ります。本請願に対し、質疑、意見はありませんか。

○千葉伝委員 きょうの審査は、環境福祉委員だけで話で進めることになるのですか。それとも、例えば医療局にこれはどうなっているのか改めて聞くことはできるのか。

○神崎浩之委員長 質問も可能であります。質問も含め、意見があれば発言願います。いかがですか。

○小林正信委員 説明資料の5ページですけれども、これまでも医師確保に向けた取り組みをやっていると思います。県立釜石病院の分娩休止発表から、何とかもう一回県立釜石病院に医師を確保する取り組みもされてきたと思うのですけれども、これまでの取り組み状況をお聞きしたいと思います。

○菊地医師支援推進監 医師招聘の取り組みであります。繰り返になってしまいますけれども、必要な診療科につきまして、派遣元である大学の医局へ派遣の要請を行うとともに、県立釜石病院などに来てほしいという意向をお持ちの医師がいらっしゃれば、その情報をもとにこちらから面談に伺ってお話をお聞きするというのを随時進めている状況であります。

なお奨学金養成医師につきまして、時期の問題もありますが、今後、年度後半等に向けて条件が整えば配置されることもあるかと思われませんが、現段階ではまだ配置はなく、年度初めに例年1名であった奨学金養成医師が4名にふえているという状況が、今のところの成果となっております。

○小林正信委員 大学病院等にも当たっているというお話でしたけれども、具体的にどこ

の大学に当たったか、差し支えなければ教えてください。というのも、まだ釜石市民病院があった当時、東北大学や金沢医科大学からも医師を派遣していただいたというお話を伺いました。そういった大学にも当たったのか。また、今後医師確保の取り組みはどのようにしていくのか。10月から休止ということでしたので、できるだけ力を入れてやってもらいたいと思いますので、そのあたりのこともお話しください。

**○菊地医師支援推進監** 派遣要請に行く大学であります。釜石市からの要望の対象である岩手医科大学が中心になります。今後もそのような形で派遣要請を強めていき、あとは即戦力医師の招聘について、釜石市と情報交換しながら、関係する方がいれば一緒に行動したいと考え現在取り組んでいるところであります。

**○小林正信委員** ぜひ、過去につながりがあった大学病院等にもアプローチする取り組みをしてもらいたいと思います。

あと報道等でもありましたけれども、釜石市議会における市議会議員への答弁で、県立大船渡病院の周辺に宿泊し分娩した場合、その宿泊の補助を行う取り組みも考えているとのことでした。そのあたりの具体的な内容について、もし決まっていたら教えてください。今妊婦の方たちも不安に思っていると思うので、そのあたりのことは早めに、具体的に教えていただきたい。あとその費用に関しては、県が全て負担する考えなのかお聞きします。

**○菊地医師支援推進監** 宿泊等の補助であります。釜石市や大槌町、県立病院など関係機関で検討中であります。いろいろ条件が整わなければならないところもありますので、話し合いは進めているのですけれども、最終段階で詳細を詰めているところであります。

あとは7月16日に、釜石市が子育て世代の方々を集めて行った意見交換会では、分娩施設への移動の際の不安への対応をしっかりしていただきたい、また分娩施設が今度県立釜石病院からほかの病院にかわりますが、そこにいきなり行って産むのは不安であり、事前に見学などできないのかという御意見もありました。そういったことへの対策を新たに考えていきたいということで、関係者間で最終的な支援策の取りまとめについて検討中であります。

**○小林正信委員** 今回は釜石市が妊婦、母親との意見交換を行いました。県としてもそういった声をしっかり吸い上げるべきではなかったかと思います。

この休診に伴って、県は産前産後ケアを充実するという考えも示しております。例えばオンライン診療など、遠野市も普通分娩できない状況ですけれども、ねっと・ゆりかごという取り組みが大変充実しております。このねっと・ゆりかごの例を釜石市でも展開するなど、オンライン診療といった支援の考えを県も示していくべきではないかと思いますが、そのあたりの考えをお聞きします。

**○小原医療局長** 7月16日の意見交換につきましては、釜石市の主催ではありましたが、県立釜石病院も出席いたしました。県立釜石病院としてどういう対応をするかも含めて説明し、それから皆様の意見をお伺いするという場にもなり、いいやり取りができたことと承知

しております。

産前産後ケアについてですけれども、例えば遠野市などでは産前の状態をオンラインで診ておりますが、県立釜石病院には産科のドクターがいますので、日中の検診はしっかり可能だろうと思います。産科のドクターがやることになります。もし何か事情で来られないことがあればオンラインなども活用することになるかと思いますが、体制としては専門の医師が直接検診するという状況ですので、そこは御理解いただきたいと思います。

検診はしっかりと継続し、それから出産時の搬送の安全の確保ですとか、産後ケアの充実などに努めていくこととしておりますので、御理解いただきたいと存じます。

○**小林正信委員** 搬送の部分で、例えば救急車の中でどうしても分娩しなければならないようなことも考えられます。遠野市では、救急救命士にそういったときの心構えなどの研修等も行っているとお聞きしました。県としても救急救命士に対する支援や研修を行っていく予定なのか最後にお聞きします。

○**小原医療局長** 搬送のときの安全の確保についてですが、救急救命士の方に知識を得ていただくのも重要な取り組みだと思っておりますけれども、今我々では、モバイル型のモニターで状態がどうなのか逐一話をし、搬送しながらでも活用できる仕組みを充実させていけないかと考えております。同乗するのはドクターや助産師など、その場でも対応できるような方に同乗していただくやり方を考えております。そういったことも含めまして搬送についての安全を確保してまいりたいと考えております。

○**千葉伝委員** 今回の請願はそれぞれの診療科の医師確保ということですが、県全体の医療体制の整備について、医療局を初め、医師確保にいろいろ努力していることは重々承知しているところであります。

県立病院の体制を整備していく中で、どうしても医師が足りないと。医師が複数いる診療科については、2人のところを1人に減らすなどが可能かもしれないですが、例えば小児科や産婦人科の医師が1人しかいないところが全くゼロになれば、地域にとって大変なことであります。分娩できなくなった後の最低限の体制については、今小林正信委員とやりとりがありました。

県立釜石病院では、小児科において新生児の入院対応が可能となる医師の派遣が困難であると。仮に県立釜石病院の体制を維持するとなった場合は、ほかの県立病院の小児科から派遣することや外部から医師を確保するなど、いろいろやり方があると思います。請願は1、2、3とあるのですけれども、2の中の特に産婦人科、小児科もそれに付随してきますが、産婦人科の医師確保について、医療局長に医療局のこれからの見通しをもう一度確認したいと思っております。

○**小原医療局長** 御承知のように、本県は医師不足の県であります。岩手医科大学医局にお願いをしておりますけれども、例えば2年前に県立中部病院から東北大学の産科が撤退し、そこを岩手医科大学に埋めていただいたという展開もありました。医師不足の中で招聘活動に努めておりますけれども、特に産科や小児科は全国的にも不足している診療科で

あり、診療科の偏在がそこにあらわれていると考えております。

現在奨学金養成医師について、本県でもいよいよ県北や沿岸地域での義務履行の時期が来ております。今年度も釜石地区で4人配置できるなど、希望の兆しは見えておりますけれども、あわせてベテランの医師もセットで配置することによって、診療能力を高めていきたいと考えております。

保健福祉部における医師少数県の知事の活動なども含め、さまざまな活動により医師の確保に努めてまいりたいと思っておりますし、奨学金養成医師の配置が増加する見通しであることは、一つの希望と考えているところであります。

○千葉伝委員 医療局長から説明があったとおり、現状として特に小児科や産婦人科の医師不足は全国的な課題で、私たちもそれは承知しているところであります。医師の確保ということで、医療局にも最大限の努力はしていただいておりますが、それでもなお現状は足りない。それではこれをどうするのだということで、この請願を仮に採択して、医療局で確保しろという話をして、結局今の話に戻るということになりかねません。もっと努力してもらいたいという意味も含めて、対応は環境福祉委員会で考えたいと思います。

○神崎浩之委員長 休憩します。

〔休憩〕

〔再開〕

○神崎浩之委員長 再開いたします。

この際、審査の途中ではありますが、総務委員会で請願の審査結果が出ましたので、当委員会においても意見書の取り扱いについて協議を行いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○神崎浩之委員長 それでは、さよう決定いたします。

総務委員会においては採択と決定したとのことであります。

さきの6月定例会において、当委員会において採択と決定いたしました受理番号第50号の請願は国に対する意見書の提出を求めるものでありますので、総務委員会と共同で次期定例会に委員会発議することとしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○神崎浩之委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたします。

それでは、意見書の文案を検討いたします。当職において原案を用意しておりますので、事務局に配付させます。

〔意見書案配付〕

○神崎浩之委員長 全体は長いですが、環境福祉委員会は2のところですよ。

ただいまお手元に配付いたしました意見書案をごらんいただきたいと思いますが、これについて御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神崎浩之委員長 ほかになれば、暫時休憩いたします。

〔休憩〕

〔再開〕

○神崎浩之委員長 再開いたします。

総務委員会においては修正はないとのことであります。皆さんから御意見ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神崎浩之委員長 ほかになれば、これをもって意見交換を終結いたします。

お諮りいたします。意見書案は、原案のとおりとすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○神崎浩之委員長 御異議なしと認め、意見書は原案のとおりとすることに決定いたしました。なお、文言の整理等については、当職に御一任願います。

また、次期定例会までの間に意見書の内容に変更を要する事情、変更等が生じた場合には、当職から委員の皆様にご相談をさせていただきたいと思っております。

それでは、中断しておりました受理番号第46号県立釜石病院に医師確保を求める請願の審査を再開いたします。

本請願に対し、質疑、意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○神崎浩之委員長 本請願の取り扱いはいかががいたしますか。

〔「採択」と呼ぶ者あり〕

○小野共委員 1点質問させていただきたいと思うのですが、6月定例会の環境福祉委員会の審査の中で、私は請願者の方たちの願意確認について、小児科、産科だけの話ではなく、循環器内科あるいは脳神経外科の話もさせていただきました。あとは医療局の中で県立釜石病院だけを取り上げて、恐らくそこだけを何とかしてくれという話にはならないだろうと。全体の医師の分配あるいはバランスの話もあるので、議会の内情として、そういう議論もありましたという話を請願者の方々と委員長と副委員長とでしてほしいという話をしましたが、その後の経過を聞かせていただきたいと思います。

○神崎浩之委員長 請願団体が5団体にわたるということで、委員長、副委員長として、特に請願者に確認はしておりません。

○小野共委員 手続的なことですが、きょうここで採決の判断をするよりも、次の本会議があるのは9月定例会ですので、それまでできるだけ情報収集をし、9月定例会の環境福祉委員会をめぐって判断すると。10月から県立釜石病院の分娩の取り扱い休止は決まっております、いつまでも話をするということでもないでしょうから。

先ほど小林正信委員から話もありましたように、釜石のぞみ病院で若い夫婦の皆さんを集め、意見交換会をやったようですので、その情報などの詳細も聞きたいと思っております。そのあたりを情報収集して、9月をめぐって判断しようということ、継続審査でお願いしたいです。

○**神崎浩之委員長** ただいま採択と、それから継続審査という声がありました。

皆様から御意見、進め方について、ほかにありませんか。

○**千葉伝委員** 今小野共委員から取り扱いについて話が出ました。地域事情を重々わかりつつという話ですが、医療局あるいは委員長にも汗をかいてもらい、やっぱりもう少し地域の皆さんと中身を確認して、9月の定例会で最終的にまとめるやり方がよいということで、継続審査を主張します。

○**神崎浩之委員長** ほかに取り扱いについていかがですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**神崎浩之委員長** それでは、本請願については継続審査と採択の意見がありますので、まず継続審査について採決を行います。

本請願は継続審査とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○**神崎浩之委員長** 起立多数であります。

よって、本請願は継続審査とすることに決定いたしました。

以上をもって付託案件の審査を終わります。

これをもって医療局の審査を終わります。

医療局の皆様は退席されて結構です。御苦労さまでした。

次に、いわて飲食店安心認証制度について、現地に出向いて調査を行います。

このため、現地調査後、議事堂に戻った時点で散会とさせていただきますので、あらかじめ御了承願います。

なお、9月1日に予定しております閉会中の委員会についてではありますが、今回継続審査となりました請願陳情1件及びさきの委員会において決定いたしましたとおり新型コロナウイルスワクチン接種の状況について調査をすることといたしておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、バスで移動いたしますので、玄関前まで御移動を願います。

〔いわて飲食店安心認証制度について現地調査を実施〕